

校長	教頭	教頭

様式1

H28年度 1/2

教科名	国語科	科目名	現代文A	単位数	2単位	対象	2年(全コース)
科目の分類	必修科目		履修順序				
科目の目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
教科書 主な教材	問題集：東京書籍『現代文A』（現A301） 副教材：尚文出版『常用漢字ダブルクリア』						
学習内容 (概要)	近代以降の随想・小説・評論を中心に学びながら、主として国語総合における「読むこと」の内容を深化・発展させる。						
学習の ポイント	1 漢字と語句の知識を高めるとともに、文章の工夫に目を向けさせる。 2 作品に表れた思いや考えを読み取らせ、自分の考えを持たせる。						
到達目標	1 作品を味わい、読むことの楽しさを知ることができる。 2 自らの考えを進んで表現することができる。						
評価の方法	1 定期テストおよび実力テストの得点 2 ノート・プリント等の提出状況 3 意見文・読書感想文等の作品の提出状況と完成度 4 授業時の発表、授業態度 5 長期休暇中の課題の提出状況						

学習展開〈年間指導計画の概要〉

	単元または項目	学習のねらい	主な学習活動(教材等)
1 学期	随想・評論編 (文学)	①随想を読み味わって、筆者独自のものの見方・感じ方をつかむ。 ②個性的な表現を通してその文章の魅力を探る。	さくらさくらさくら
	小説編(現代)	①情景や心理描写を的確に読み取る。 ②小説に描かれたさまざまな愛や葛藤の姿から、心の触れ合いについて考える。	みどりのゆび ナイン
	随想・評論(芸術)	①論旨をとらえ要旨を的確に理解する力を養う。 ②論理的な文章の構成を学び、自分の意見を論理的に表現するための基礎を作る。	ミロのヴィーナス
	中間考査 意見文	①自分の意見を効果的に表現する力を養う。	意見文の作成
	随想・評論編 (言語)	①少し長めで、抽象的な表現を含む文章を的確に読み取る。 ②言語という身近なものに対する素朴な疑問を持つ。	言葉と世界
	小説編(近代)	①寓話的な話のおもしろさを味わい、その主題と構成を理解する。 ②小説を読む楽しさに気づき読書に興味を持つ	山椒魚
	期末考査		

学習展開〈年間指導計画の概要〉			
	単元または項目	学習のねらい	主な学習活動（教材等）
2 学 期	随想・評論編 (労働)	①異文化としての日本文化を知り、日本語や日本文化について改めて考察する。 ②筆者の生き方・考え方を理解し、人生に対する理解を深める。	「おのずから」を感じ取る
	随想・評論編 (読書) 中間考査	①どのような問題がどのように取り上げられているか、的確に読み取る。 ②人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりに考える態度を養う。	塩一トンの読書
	(言語活動)	①朗読する際の注意点を挙げて確認し、聞き手に内容や読み手の心情が伝わるように朗読する。 ②好きな詩を選んで読み方を工夫し、聞き手に詩の情景と読み手の心情の伝え方を理解する。	朗読して味わう 「竹」 「小景異情」 「Jに」 「ブブル」
	小説編（現代） 期末考査	①表現や展開を的確に読み取り、それぞれの主題を理解する。 ②多様な小説世界を味わって人間や社会についての認識を深め、読書に親しむ態度を養う。	カンガルー日和
	小説編（近代）	①長編小説の主題を、場面の展開や人物の性格・心理描写から読み取る力を養う。 ②人生についての考えを深める。	こころ
3 学 期	(言語活動)	①外国の文化の中で現代の日本文化に深く影響を与えた題材を選び調査したことを整理して、それをもとに自らの考察を広げる。	外国文化の影響を調べて発表する
	小説編（近代） 学年末考査	①読むことを通して、自分とは何か、人間とは何かについて理解を深める。 ②構成と表現の工夫を学ぶ。	山月記
	(言語活動)	①テーマに沿った何冊かの本を図書館で探し、テーマに沿って自分の考えをまとめる。 ②まとめた考えを、グループでそれぞれが出し合って、効果的に話し合う	読み比べて考える